

祥雲閣

たより vol.52



で気軽に

お茶を楽しみましょう。

～祥雲閣にぜひお越しください～

祥雲閣では軽やかなのど越しの中にさわやかな苦みが味わえる抹茶と独特のうまみと甘味が味わえる一煎目、程よい渋味と香りにさっぱりとした後味の二煎目を味わえる煎茶をお出ししています。お茶とともにお出しする和菓子は季節の移ろいに合わせて作られ、次の季節の訪れを告げます。

初秋をむかえ、時間の流れがより早く感じられるようになりますが、和菓子を楽しむことで心を癒すひとときを祥雲閣で過ごしていただければと思います。

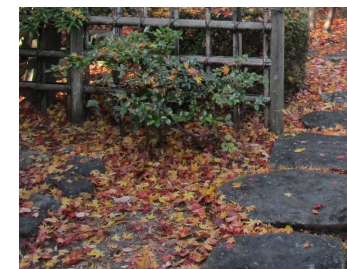


祥雲閣の風景

～初秋～



十月が近づき、連日続いた季節外れの暑さがようやく一段落し、朝晩の風に秋を感じるようになりました。これから祥雲閣の庭園の木々は紅葉や実をつける季節を迎えます。松などの常緑樹は冬でも葉があることから正月の縁起木として使われますが、桜などの落葉樹は葉を落とし休眠期に入ります。落ち葉や枯れた葉、折れた木の枝などが「枯山水」に広がり、苔がむした岩を見ると時の経過で変化しつつあるものの静かな様子が「わびさび」として愛されています。



「わび」とは、つつましく質素で静かな空間のなかにある美しさ、「さび」とは古く寂しげなものの中にある味わいを表すと言われています。どんなものも時が経つと汚れたり、欠けたりしていきませんが、それを劣化ではなく、変化と捉え美しさを見出す日本人の感性がうかがえます。

※諸説あります。

恋する秋の音楽祭 Vol.11

～ 秋空の下 祥雲閣庭園で奏でるコンサート
 すてきな時間が流れる 恋する秋の音楽祭 ～

令和5年10月8日(日)

2回公演 1公演 70人(計140人)

【昼の部】 13:15 開場 / 13:30 開演

【夕刻の部】 15:45 開場 / 16:00 開演

全席自由 2,200円



高泉淳子さんプロフィール
 古川地域出身。役者・劇作家・演出家。
 早稲田大学在学中に演劇を始める。NHK「週刊こどもニュース」・「週刊ブックレビュー」の司会、執筆活動、演劇・音楽プロデュースなど、多方面で活躍。平成3年文化庁芸術祭賞受賞、平成15年読売演劇大賞優秀女優賞受賞。平成19年から現在までおおさき宝大使を務める。

カレンダー

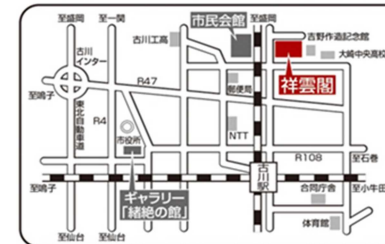
※ 休館日、○は煎茶提供日です。

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	⑦				1	2	3	④						1	②
8	9	10	11	12	13	⑭	5	6	7	8	9	10	⑪	3	4	5	6	7	8	⑨
15	16	17	18	19	20	⑳	12	13	14	15	16	17	⑱	10	11	12	13	14	15	⑯
22	23	24	25	26	27	㉘	19	20	21	22	23	24	㉙	17	18	19	20	21	22	㉚
29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
														31						

祥雲閣は、テーブルと椅子を設置した立礼茶室で、500円でお茶とお菓子を気軽にお茶を味わうことができ、心和むひとときをお過ごしいただけます。(10時～16時まで)

茶道をはじめ、箏、仕舞・謡、日本舞踊等の発表会やお稽古にご利用いただけます。貸館をご希望の方は下記にお問い合わせ下さい。

所在地 大崎市古川福沼一丁目2-2
 電話 0229-24-3385
 交通 JR古川駅から徒歩約20分
 東北自動車道古川ICより車で約10分
 駐車場 有
 休館日 月曜日 (月曜が祝日の場合は翌日)
 入館料 無料 呈茶の場合は抹茶・煎茶に菓子がついて500円



大崎市祥雲閣
 令和5年 9月29日発行
 〒989-6105
 宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号
 TEL・FAX 0229-24-3385